



人権ながの

第17号 2011 February
平成23年2月



■発行/

長野県人権啓発センター

〒387-0007 千曲市屋代字清水260-6

TEL 026-274-2306 FAX 026-274-2309

長野県企画部人権・男女共同参画課

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

TEL 026-235-7106 FAX 026-235-7389

URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/>

E-mail jinken-danjo@pref.nagano.lg.jp

特集 子どもの人権 ～子どもたちの笑顔を守ろう～

子どもも、一人の人間として基本的人権が保障されています。しかしながら、身体的および精神的に未熟であるため、保護し守られなければならない存在です。

子どもを取り巻く環境は、いじめ、虐待、暴力などにみられるように深刻な状況にあります。また最近では、インターネットや携帯電話の普及により、ネットいじめや、児童買春・児童ポルノ等の新たな人権問題も起きています。

【子どもの権利条約】

「子どもの権利条約」とは、子ども（18歳に満たない者）たちの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。正式な名称は、「児童の権利に関する条約」といいます。

1989年（平成元年）に国際連合総会で採択され、日本では、1994年（平成6年）に批准されました。

「子どもの権利条約」が定めている権利

この条約は、大きくわけて4つの子どもの権利を守るように定めています。そして、子どもにとっていちばんいいことを実現しようとしています。

生きる権利

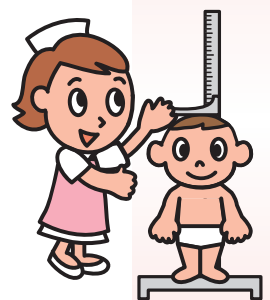
防げる病気などで命をうばわれないこと。

病気やけがをしたら治療を受けられることなど。



育つ権利

教育を受け、休んだり遊んだりできること。考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができることなど。



守られる権利

あらゆる種類の虐待や搾取などから守られること。

障害のある子どもや少数民族の子どもなどはとくに守られることなど。



参加する権利

自由に意見をあらわしたり、集まってグループをつくったり、自由な活動をおこなったりできることなど。



((財)日本ユニセフ協会ホームページ より)

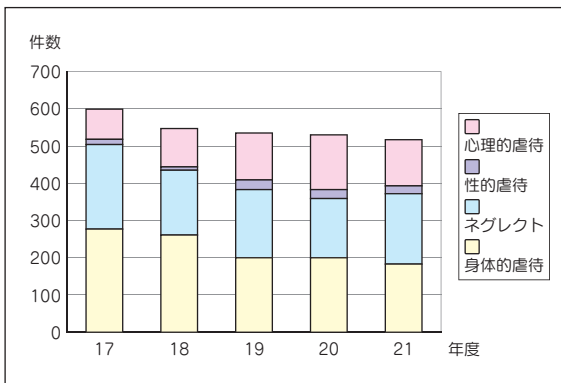
児童虐待

児童虐待とは、保護者とその監護（監督し、保護すること）する18歳に満たない者の心身を傷つけ、健全な成長や発達を妨げる行為をいいます。虐待は、家庭の中で行われているため、外からは見えにくいことが特徴です。そして、多くの場合、心身に深刻な影響を与え、ときには子どもの命に関わる著しい人権侵害です。

◆ 児童虐待の種類 ◆

- 身体的虐待・・・殴る、ける、首を絞めるなど、児童の身体に外傷が生じ、または生じるおそれのある暴行を加えること
- 性的虐待・・・子どもへの性的ないたづらや性的な行為をすること、またそれらを強要すること
- ネグレクト（育児・監護放棄）・・・食事を与えない、不潔なままほうっておくなど身の回りの世話をしない、病気やケガをしても医者に見せない、学校等に行かせず家に閉じこめるなど、正常な発育・発達を妨げること
- 心理的虐待・・・言葉で脅かす、無視する、子どもの前で配偶者に対して暴力を振るうなど、言葉や態度で著しい心理的外傷を与えること

長野県内の児童相談所における児童虐待区分別相談件数の推移



「身体的虐待」と「ネグレクト」と合わせた構成比が70パーセントを占めています。
(数値資料：長野県こども・家庭課)

*** 児童虐待 相談窓口 ***

児童虐待を発見した場合や虐待かもしれないと疑いを持った場合は、児童相談所、お住まいの市町村、福祉事務所窓口へ相談（通告）しましょう。相談者（連絡者）の秘密は厳守されます。

○児童虐待・DV24時間ホットライン
24時間・365日

0263-91-2410

○児童相談所 月～金曜日 8:30～17:15

中央 026-228-0441

松本 0263-91-3370

飯田 0265-25-8300

諏訪 0266-52-0056

佐久 0267-67-3437

○市町村

お住まいの市町村の児童福祉担当にご相談ください。

リボン運動を知っていますか ～リボンに込められた願い～

さまざまな種類のリボンに願いを込めたリボン運動があります。リボンを身につけたり、ロゴをウェブページに掲載するなどして意思表示をする活動です。

一つ一つのリボンに願いが込められています。



オレンジリボン

児童虐待防止のシンボルマーク

子どもへの虐待のない社会を目指す運動のシンボルマーク

○パープルリボン（女性に対する暴力根絶）

○イエローリボン（障害者の社会参加推進）

○ブルーリボン（北朝鮮による拉致被害者の救出）

○ピンクリボン（乳がんの早期発見・診断・治療の推進）

○レッドリボン（エイズへの理解・支援）

○シルバーリボン（脳に起因する病、心の病への理解促進）

(この他にも、いろいろなリボン運動があり、国等によっては異なった運動のシンボルマークに使われているものもあります。)

平成22年度人権フェスティバルを開催しました

～一人ひとりの“ちがい”が尊重される社会へ～

一人ひとりが互いの“ちがい”を尊重しあう共生社会の実現に向け、幅広く人権について考えていただくことを目的に、平成22年11月18日に長野県松本文化会館において開催しました。



作文コンテスト受賞者の皆さん

今年度は最初に、平成22年度全国中学生人権作文コンテスト長野県大会の優秀作品入選者、最優秀賞2名、特別賞3名、優秀賞8名の方の表彰を行いました。

その中で、最優秀賞を受賞した、佐久長聖中学校1年荻原萌さん「子どもに関する問題」、木曾町立福島中学校3年永井雪乃さん「そんなこと言わないで」の2作品をご本人から朗読をしていただきました。

(最優秀賞の2作品は、4ページ・5ページに掲載しています。)

続いて、映画監督で作家の森達也さんもりたつやから「僕たちの矛盾、僕たちの未来」と題して御講演いただきました。

メディアから提供される情報を鵜呑みにするのではなく、自分自身でよく考える「視点をずらす大切さ」について、世界における人権問題の現状や国内での情勢について取材活動等を踏まえ独自の視点からお話いただきました。



森達也さん

小学生が描いた絵をデザインしたラッピングバスが走行中です

～路線バス車両に子どもたちの願いを込めて～

県民一人ひとりに人権問題を身近な問題として考えていただく契機とするため、「自分達が大切にしたいもの」などを題材に小学生が描いた絵をデザインしたバスが、昨年11月から長野市内及び松本市内で運行しています。

長野市内のバスは、長野市立徳間小学校、松本市内のバスは、松本市立開智小学校の皆さんが描いた絵でラッピングしました。

この子どもたちの絵に包まれたバスを見かけたときは、子どもたちからのメッセージを感じていただき、「お互いを思いやる大切さ」や「一人ひとりの個性を尊重する大切さ」について改めて考えるきっかけになればと思います。



長野市立徳間小学校のラッピングバス出発式の様子



松本市立開智小学校のラッピングバス出発式の様子

平成22年度全国中学生人権作文コンテスト

長野県大会最優秀賞作品

～上位入賞作品のうち、最優秀賞2作品を紹介します～

子どもに関する問題

佐久長聖中学校 1年

荻原 萌さん

家族でスーパーマーケットや飲食店に入るたびに、たくさんの視線を感じる。このお盆もそうだった。そして必ず「数」を数えられる。目や頭が数を数えるように「縦」に動くので良く分かる。いつの頃からか忘れてしまったが、おそらく私が小学校に入学する直前に四番目の弟が生まれてからだと思う。今、彼の下に二歳の妹がいる。私は五人きょうだいの長女なのである。

きょうだいが多い事は良い事もあり悪い事もあるのはその通りなのだけれども、一番はとにかく毎日の生活が「大変」の一言だ。食事から洗濯から、日帰りで海へ出かける事も周りの人のように普通には決していかない。家は料理屋なのでお盆は家業を手伝い、それ以外の日には日中家事をこなし、妹の世話をし、私が勉強をはじめるのは深夜だ。

今、新聞やテレビニュースでは少子化が深刻な問題だと各社そろって表面的な事を言う。何が大変なのかちっとも分かっていない。当人である私達は本当に大変だ。小学校でもきょうだいが多い我が家は「手が入っていない」とか「放置されている」とか「虐待されている」とか言われた。弟達の忘れ物や遅刻が人並外れて多かつたりしたからだと思う。

「自営業の子たくさん」は学校的には要注意らしいが、母は私を産むまで小学校の教員をやっていた。母は本当に子供が好きだという事もあるけれど、たくさんの子供を生み育てる事は「納税者を増やすこと」だと事もなげに言い切る。母は強いしこの国の将来を本当に考えている。

子供が多い事で恥をかく場面は数えきれない。スーパーで「買って買って」と駄々をこねて大泣きするくらいならまだいいが、店員さんの目の前でおもむろに口に入れてしまったり、パックに指で穴を空けてしまったり、白滝やジュースを落として割って雑巾がけしたり、果てはトイレに間に合わなくておしっこやうんちを床に撒き散らしてしまったり雑巾がけしたりと、どのくらい父母は謝ったか数え切れない。コップの水やラーメンをひっくり返す事などしょっちゅうだ。その時の周囲の視線はとても冷たいし、周りの人に片付けを手伝ってもらった事など

私の記憶している限り一度もない。その分、いまや私達は即座に行動し、連携プレーで片付ける術を身に着けた。

半年前、私のすぐ下の弟に発達障害があることが分かった。一見普通だし、私以上に彼は受け答えも上手で優等生だとみなされていた。児童会長をしている。母はその半年前に彼の異変に気づいて担任の先生や学校、病院にお願いしてきたのだが、誰も取り合ってはくれなかった。むしろ子たくさんで手が入らない家庭環境が悪いとか、父に虐待されているのではないかとひどい疑いをかけられた。父と母は必死に学校を説得した。ようやく支援学級に入る事が出来て、検査をして母の主張が証明された。長かった。彼は友達とうまくいかず六年間も悩み苦しんできた。不登校寸前までいって、挙げ句に家庭でパニックを起こし、暴力的な行動をするまでになってしまった。

どうして誰も分かってやれなかったのだろう。父は言う。「この子はいいい子だから」が一番危ないと。彼はその通りだった。彼の担任だった先生はその台詞を言い続けた。これはまさしく先生や周囲の人が子供一人一人をきちんと見ていない証拠なのではないだろうか。父は「学校や社会が問題の本質を捉えず、事なかれに終始して子供を見殺しにしている現実であり、明らかに学校の不作為による不利益であり深刻な人権被害だ」と言うほど怒っていた。子供は自分の痛みや問題を口にして大人に伝える事はとても難しい。

今の少子化が困るというのは、年金の掛け金や税金を払う人がいなくなって、今の大人が高齢者になった時、自分が困る、というふうにしかならない。とても幻滅する。

きょうだいが多い事は本当に「大変だ」。正直、自分の勉強をする事も楽ではない。夏休みの課題も山積だ。けれども一人っ子が良かったとは一度も思った事はない。小学校の三、四年の時、父母で小さい店をやっていた時、大好きだった担任の先生にこう言われた。「萌さんの家は本当に生きてるって感じがする。今どきめずらしいよ。」人権を認める

事はその人の戸籍とか存在ではなくて、まさに今その人が生きていることを認める事だと思う。子供も生きている。小さな体で小さな社会で生きている。いい事も悪い事も含めて生きている。きょうだいが多いことで私自身冷たい視線を浴びせられた事もあ

る。陰口も叩かれてきたし、意地悪もされてきた。見て見ぬふりもされてきた。けれど私達子供は私一人を見てほしいと思っている。本当の私の姿。いい事も悪い事も含めて私なのだから。



そんなこと言わないで

木曾町立福島中学校3年

永井 雪乃さん

まず始めに質問です。みなさんの家庭にはおじいさん、おばあさんはいますか？ 私の家には祖父と祖母がいます。私が小さい頃から二人とも元気で、母は仕事で朝から夕方までいませんでしたが、祖父は家で仕事をしていたので、いつも私のそばにいて面倒をみてくれていました。私の家は洋服屋なので、祖父は裁ち台でいつも仕事をしていました。私はその横に座り、絵を描いたり折り紙を折ったりしました。休みの時は一緒にテレビを観たり、歌を歌ったりと小さかった私をいつも楽しませてくれました。私にとっては、祖父と祖母は大切な存在だったので

す。

保育園、小学校とだんだん大きくなる私のことをいつも可愛がってくれて、中学校へ入学してからも二人は元気で、学校生活や部活、テストの時もいつも応援して励ましてくれて、みんなで楽しく、笑っている毎日が、いつまでもいつまでも続くものだと思っていました。けれど、いつの間にか私は家族に反抗するようになって、気がついた時には言い争いばかりの日々が続くようになりました。何か原因があったわけではなく、ただ言われたら反抗する言葉をぶつけ、祖父と祖母が「行ってらっしゃい」「おかえり」と言っても、返事もしないで、素直になれない日が続きました。そして、学校で嫌なことがあると、つい祖父に当たってしまうことが多くなっていきました。

ある日、いつものように黙って不機嫌な私に祖父が話しかけてきた時、「大っ嫌いだ！ 何処かへ行っちゃえ！」と言ってしまったのです。口に出してから「しまった、言い過ぎた…」と思って祖父の顔を見ると、黙り込んでとても悲しそうな顔をして私を見ていました。それでも私は謝りもせず黙っていると、祖父はこう言いました。「もう少しで死ぬから、それまで我慢してくれよ」と。

その言葉を聞いた瞬間、鋭い物で衝かれたかと感じるくらいに胸が苦しくなり、そしてとても悲しくなりました。そんな顔をさせるつもりも、あんなことを言わせるつもりもなかったのに…。自分の思い

やりの無さや、身勝手さが改めて分かって、許せない気持ちでいっぱいになりました。そして、今までたくさんの祖父との思い出がよみがえってきたのです。保育園の頃、おんぶをしてもらったこと、運動会では祖父母の競技に出て玉入れに汗を流していた姿。小学校の頃、毎年運動会や音楽会の前には、「あきらめるな！がんばれよ」と、励ましてくれたこと。これまで忘れていた思い出が次々とあふれ出してきて、後悔の気持ちでいっぱいになりました。

それから、祖父はちょっとしたことですぐに「あと少しでいなくなるから、邪魔してごめんな」と言うようになってしまいました。テレビの観たいものが違う時や食べたい物が合わない時、生活する中での様々な場面でマイナスなことを言うようになってしまったのです。私は、その言葉を聞くたびに、涙が出そうになって、自分の無神経さや心遣いの無さを思い知らされます。私は祖父に何度も謝りました。もし、本当に祖父がいなくなってしまうたら…そう考えるだけでとても辛い気持ちになります。

「何てひどいことを言ってしまったのだろう…」と。言葉の暴力で人を傷つけることを、自分自身で経験して、もっと一言一言を大切にしていかなければいけないんだと実感しています。感じたり、思ったことを口にするのは、いつも何気なくやっているけど、そこには必ず周囲や相手への気遣いが必要なんだ、と。

もう、あれから一年が経ちました。私は今でも祖父に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

嬉しい時、悲しい時いつでも一緒にいてくれた祖父は、私の大切な人です。いつも見守って励ましてくれた以上に優しくしようと心掛けています。あの言葉の傷は治ったり、消えることはないけれど、私は祖父ともっともっと仲良くなりたい、楽しく過ごしたいと思っています。そして今、改めて祖父に伝えたい言葉があります。

「いつもありがとう。これからも仲良くしようね。いつまでも長生きして下さい。」

人権啓発センターをご活用ください

人権啓発センターでは、人権に関する県内の歴史的資料や、生活の中に存在する人権問題に焦点を当てた資料等の展示、人権啓発ビデオ／DVD・パネルの貸出し、人権学習会等の啓発活動を行っています。また、平成22年4月からは人権に関する総合相談を行っています。

詳しくは人権啓発センターへお尋ねいただくか、県のホームページをご覧ください。

○人権啓発ビデオ／DVD・パネルの貸出し

啓発ビデオ・DVD：約200本 啓発パネル：A1サイズ、22枚
利用料：無料（送料が発生する場合はご負担していただきます。）

○人権学習会

皆さまのご要望により、センター館内または、地域の公民館や職場において人権問題に関する学習会を承りますのでご相談ください。

○人権相談

相談は無料で個人の秘密は固く守られますので、安心してご相談ください。
(相談専用電話 026-274-3232)



～ ご意見・ご感想 ～

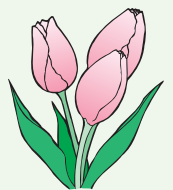
人権啓発センターに寄せられた皆さまのご感想、ご意見の一部を紹介します。

人権啓発ビデオ・DVD 利用者の声

- 作品名：「声を聞かせて」（内容：人権一般）
- ・携帯電話は便利であるが、一面リスクが高く、それが人の心の問題につながる深い問題を学んだ。
 - ・高校生にとって身近な内容であり、話の筋もわかりやすく生徒が集中して視聴していた。
- 作品名：「えっ！これも人権？」（内容：人権一般）
- ・普段気づかない人権についての課題を学んだ。
 - ・高齢者問題は身近な問題のため、感じるものがあったと思う。また身近に人権問題があることがわかった。
- 作品名：「もう一度あの浜辺へ」（内容：高齢者・人権一般）
- ・自分も避けて通れない問題だと思った。
 - ・家庭内の障害、認知症を恥とせず、施設利用、地域、隣人と協力し合い解決することを知った。

人権学習会 受講者の声

- ・人権に対する意識の持てる生活環境を作る必要性を感じた。
- ・人権の大切さをあらためて認識し、これからの様々な活動に活かしていきたいと強く思った。
- ・最近のニュースにある虐待、差別、いじめに対して、避けて通りたい問題であるが、この態度はいけないと学んだ。
- ・「頑張るって変える」「本気で変える」という意識改革の大切さを多くの人と共有していきたい。
- ・感じたこと、学んだことを自分の中だけで終わらせるのではなく、ほかの人とともに人権感覚を磨き、伝えたい。



長野県人権啓発センター

〒387-0007 千曲市屋代字清水260-6 長野県立歴史館内
TEL 026-274-2306 / 026-274-3232 (人権相談専用電話)
FAX 026-274-2309
ホームページ <http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/danjo/center/center.htm>

- ◆開館時間 午前9時～午後5時（ただし、入館は午後4時30分まで）
- ◆休館日 毎週月曜日（祝日、振替休日にあたる場合は火曜日）
祝日の翌日（日曜日にあたる場合は開館）
年末年始等、センターの定める日
- ◆入館料 無料
- ◆交通案内 しのの鉄道 屋代駅、屋代高校前駅から徒歩25分
長野電鉄屋代線 東屋代駅から徒歩20分
長野自動車道・上信越自動車道 更埴ICから車で5分

